報告書

2025年　7月　13日

屋　号	高宮農園	氏　名	[redacted]
題　名	今治・西条山林火災復興支援基金		
期　間	2025年6月1日から		

概　要

3月末に発生した山林火災により焼失した山林に、桜・桃・梅の苗木を植樹した

内　容

今治市で３月末に発生した山林火災により、約２ｈａの所有する山林を焼失した。発生から１か月後の４月末から５月初旬にかけて、ＪＡや今治市社会福祉協議会のボランティアの協力などによって、焼けた樹木や竹などの伐採および運び出しの作業を行った。危険度などの観点から、山の下に民家がある所を重点的に作業を行った。

今回行った、植樹の活動は、その際に片づけを行った所の内、約40aに行った。山林火災のあった地区名が桜井という地域なので、桜井にちんで桜の木を植樹することとした。植樹する苗の手配の都合上、足りないものは桃と梅を手配し、梅の花の咲く1・2月から桜の花の咲く4月下まで長い期間花の咲くように段取りをした。今回の植樹の活動には、今治市社会福祉協議会のボランティア15名をはじめ今治市の地域おこし協力隊2名など総勢22名で活動を行った。

植樹作業は6月22日（日曜日）午前9時30分より開始した。まず始めに、植付の際の注意点を説明した。暑い日が続いていることもあり、作業時間の短縮のため、あらかじめ植付の穴を掘って、苗木を配り、植付作業のみの状態にした。植付はまず、あらかじめ掘った穴に土を少し埋め戻し、苗木を置き、ほぐした土を苗木の首元までかぶせた。最後に、苗木の周りに土手を作って雨が降った時に水が溜まりやすいようにした。

作業は注意点説明後、各々に分かれて行い、中学生の参加者もいた。途中10分程度の休憩をはさみ、午前11時までにすべての作業を終わらすことができた。樹種は桜20本・桃35本・梅65本の合計120本を植樹した。

（作業風景）








課題・問題点

課題や問題点としては、この夏の猛暑にいかに耐えて、活着し順調に生育するかである。

今後の活動・対策

課題・問題点で挙げたことを達成するために、天候に応じて、潅水や消毒・追肥等を行い苗木を枯らさないように管理を行うことである。

今年の夏を乗り越えることができれば、来年の春には花の咲く姿が見れるようになり、その後の管理としては、病害虫にやられないように消毒や追肥がメインになる。